

7月の天体観望会

なつ せいざ

夏の星座をさがそう

夏の^{だいさんかく}大三角 ベガ（こと座） アルタイル（わし座）
デネブ（はくちょう座）

さそり座のアンタレス

⇒太陽の直径の720倍もある^{せきしよくちようきよせい}赤色超巨星

おりひめはベガ ひこぼしはアルタイル

あま がわ

天の川をよくみてみよう

天の川のことを、中国では「^{ぎんが}銀河」、西洋では「^{せいよう}ミルキーウェイ」と呼びます。天の川は川でもなんでもなく、実は星の集まりです。わたしたちの住んでいる地球は、「^{ぎんがけい}銀河系」とよばれる2000億個もの星の集まりの中にあります。地球は^{ちきゅう}銀河系の^{ちゆうしん}中心から^{はな}離れたところにあるので、夏の夜に空を見上げると、^{ぎんが}銀河の^{ちゆうしんほうこう}中心方向を見ることになり、星がたくさん同じ方向に見えるために、川のような^{ひかり}光の帯に見えます。反対に冬は^{はんたい}銀河の外れの方を見ることになるので、冬の天の川はあわくしか見えません。

天の川の中にある、いて座付近は、^ざ星団や^{せいうん}星雲がたくさん見えます。双眼鏡でも見えるものもあるようです。さがしてみましよう。^{せいだん}星団や^{せいうん}星雲のまえにあるMとは星雲や星団をたくさん^{はっけん}発見したメシエという人の名前の頭文字です。

《参考》

- ・「星空図鑑」 藤井 旭 ポプラ社
- ・「四季の星座図鑑」 藤井 旭 ポプラ社